

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

8月報

### インフルエンザ/COVID-19定点(小児科定点を含む)

※令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染症法上の位置付けが5類感染症になり、定点医療機関による定点把握となっています。

インフルエンザ： 報告数は1,188件(前月比0.5、前年同月比79.2)でした。患者数は7月と比べて半減したものの例年に比べて多く、9月もインフルエンザ流行の続くことが予想されます。患者は菊池(27.63)、人吉(24.20)、宇城(23.67)から多く報告されました。

新型コロナウイルス感染症： 報告数は7,128件(前月比1.2)で、前月より増加しました。教育機関が新学期に入る9月は、患者数の更なる増加が予想されます。患者が多数報告された地域は、有明(160.38)、宇城(114.17)、天草(113.43)、人吉(103.20)、阿蘇(101.00)でした。

### 小児科定点

(全体傾向)

報告数は11,676件(前月比1.00、前年同月比9.56)でした。患者数は前月とほぼ同程度であり、様々な感染症の流行が続いています。今月増加が目立った感染症は流行性耳下腺炎、A群溶連菌咽頭炎、新型コロナウイルス感染症で、減少が目立った感染症はインフルエンザ、RSウイルス感染症でした。詳細は疾患別傾向をご参照下さい。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症： 報告数は467件(前月比0.7、前年同月比7.3)で、前月より患者数は減少しました。1歳以下が全体の7割程度(343/467)を占めています。菊池(18.00)、八代(16.25)、熊本(12.06)から多く報告されました。
2. 咽頭結膜熱： 報告数は84件(前月比0.9、前年同月比4.0)でした。前月に比べてやや減少しましたが、8月ではこの4年間で最も多い患者数でした。年齢別では2歳にピークがあり、1~3歳で全体の半数(47/84)を占めました。
3. A群溶連菌咽頭炎： 報告数は234件(前月比1.3、前年同月比11.1)で、前月より増加していました。今年は5月以降流行が続いており、直近2年間と比べても患者数が多くなっています。年齢別では5歳にピークがあり、幅広い年齢層で患者が発生しています。宇城(9.00)から多く報告されました。
4. 感染性胃腸炎： 報告数は1,104件(前月比1.0、前年同月比1.8)で、前月とほぼ同水準でした。1歳をピークに全ての年齢層で発生しました。菊池(56.60)、有明(53.00)から多く報告されました。
5. 水痘： 報告数は35件(前月比1.1、前年同月比2.2)でした。前月よりやや増加していました。
6. 手足口病： 報告数は515件(前月比1.9、前年同月比3.2)でした。前月からさらに患者数が増加しており、9月も同様の流行が予想されます。患者は1歳をピークに低年齢児に多く発生しています。患者が多数報告された地域は菊池(27.80)、有明(22.00)でした。
7. 伝染性紅斑： 報告数は3件(前月比3.0、前年同月比0.4)でした。

8. 突発性発疹 : 報告数は93件(前月比0.9、前年同月比0.9)で、前月とほぼ同水準です。
9. ヘルパンギーナ : 報告数は598件(前月比0.8、前年同月比12.7)で、8月は減少に転じました。それでも直近2年間と比べて著しく多い患者数です。年齢別では1、2歳で全体の約半数(317/598)を占めています。菊池(30.20)、有明(22.60)から多く報告されました。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数は24件(前月比1.4、前年同月比12.0)でした。今年は直近2年間よりも多い患者数で推移しています。有明(1.80)で患者数が多くなっています。

### 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数 14 件(前月比 1.1、前年同月比 0.6)、すべて熊本からの報告で、20～59 歳に散発しています。

### STD定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症 :  
報告数90件(前月比1.3、前年同月比1.2)でした。男女別は、男性66件、女性24件でした。年齢別では男性では10代後半から60代、女性は10代後半から40代に認め、20代をピークに44件、10代後半に8件、30代に19件、40代に12件、50代に5件、60代に2件でした。地区別は、熊本市67件、次いで有明で11件、八代で5件、宇城で男性のみ3件、以下女性のみ菊池、御船で2件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症 :  
報告数20件(前月比0.8、前年同月比1.0)でした。男女別は、男性14件、女性6件でした。年齢別では男性では20代から70代、女性は10代後半から70代以上に認め、40代をピークに5件、10代後半に1件、20代に4件、30代に4件、50代に2件、60代に1件、70代に3件でした。地区別は、熊本で13件、宇城で4件、以下女性のみ八代2件、菊池1件でした。
3. 尖圭コンジローマ :  
報告数は10件(前月比1.1、前年同月比1.7)でした。男性8件、女性2件でした。年齢別では10代に1件、20代に4件、40代が4件、50代に1件、認めました。地区別は、熊本で9件、菊池で女性のみ1件でした。
4. 淋菌感染症 :  
報告数は28件(前月比1.4、前年同月比1.2)でした。男女別は、男性24件、女性4件でした。年齢別では男性では20代をピークに8件、10代後半に2件、30代に6件、40代に6件、50代後半に2件認めました。女性は20代に3件、30代に1件認めました。地区別は、熊本23件、有明、宇城で男性のみ各2件、八代も男性のみ1件でした。

### 基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :  
報告数27件(前月比1.7前年同月比1.2)でした。0歳1件、70歳以上18件でした。有明が定点あたり6と増加しています。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：

報告数10件(前月比5.0、前年同月比3.3)でした。増加があり要注意です。有明6件、熊本4件です。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告数0件(前月比ー、前年同月比ー)でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数1件(前月比ー、前年同月比1.0)でした。

2. 無菌性髄膜炎： 報告数3件(前月比3.0、前年同月比ー)でした。全て熊本です。乳幼児例はありません。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数0件(前月比ー、前年同月比ー)でした。

4. クラミジア肺炎： 報告数0件(前月比ー、前年同月比ー)でした。

5. 感染性胃腸炎(ロタウイルスによる)：

報告数0件(前月比ー、前年同月比ー)でした。

### 届け出対象感染症

1類感染症：報告はありませんでした。

2類感染症：結核 14件

3類感染症：報告はありませんでした。

4類感染症：レジオネラ症 4件

日本紅斑熱 1件

5類感染症：アメーバ赤痢 1件

後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む) 2件

侵襲性インフルエンザ菌感染症 2件

梅毒 20件

百日咳 1件